

ふくどん
福井

福祉情報誌 第108号 2016. 5. 1

編集・発行



社会福祉法人

西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL www.nisya.net E-MAIL nisya@nisya.net

その笑顔 未来を照らす 道しるべ

-平成28年度児童福祉週間標語-



西原町社会福祉センター周辺にて
園児達の手づくり鯉のぼり掲揚

目次	児童福祉週間・・・・・・・・・・・・・1	はばたきだより・・・・・・・・・・・・・6
	鯉のぼり掲揚事業・福祉団体活動・・・・2、3	いいあんべー家だより・・・・・・・・・・・・・7
	社協主な事業・・・・・・・・・・・・・4、5	お知らせ・・・・・・・・・・・・・8

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

健やかな成長を願う - 第9回手づくりのぼり掲揚事業 -

西原町社会福祉センターでは、4月27日～5月10日の期間、西原保育連絡協議会、西原南幼稚園、西原町電設会の協力により約800匹の手づくり鯉のぼりをセンター周辺に掲揚し元氣よく泳いでいます。

また、4月27日に掲揚式を行い、西原南幼稚園、小川保育園、西原白百合保育園、さざなみ保育園、さわふじ保育園、海星学園 関係者300名参加し開催しました。掲揚式では、鯉のぼりを掲揚した後、園児たちによる元気いっぱいのお遊戯が披露され盛り上がる中、来場者たちから子供たちへ心から健やかに成長を願う温かい拍手が送られました。

※掲揚式の様子は、6月号にて掲載予定です。



鯉のぼり掲揚協力の西原町電設会

- ◎手づくり鯉のぼり提供園
- ・坂田保育所
- ・愛和保育園
- ・西原保育園
- ・さくらんぼ保育園
- ・さうんど保育園
- ・西原白百合保育園
- ・小川保育園
- ・さざなみ保育園
- ・さわふじ保育園
- ・西原南幼稚園
- 順不同



交通安全お守り贈呈
西原町老人クラブ連合会

平成28年4月4日(月)、西原町老人クラブ連合会(屋良朝光会長)の女性友愛部より、町立4小学校へ交通安全お守りを寄贈しました。女性部長・糸数良子さんが坂田小学校、西原小学校、西原南小学校、西原東小学校を訪問し、合計約395個の交通安全お守りを校長先生へ手渡しました。このお守りは、新1年生が安全に登下校できるよう願いを込めて女性部の皆さんが一つひとつ手づくりしたものです。

坂田小学校の仲義義章校長より「町老人クラブ連合会の皆様には今年度も町内の小学1年生の入学に当たり、交通安全の手づくりお守りを寄贈していただき誠にありがとうございます。子供達が今年も無事故で学校への登下校することへ励ましになることでしよう」と感謝の言葉を頂きました。



手づくりカエルお守りを贈呈

西身協視覚部の社会見学
西原町身体障害者協会

西原町身体障害者協会(西身協)視覚部は、社会見学の一環として、昨年6月1日にオープンした沖縄愛楽園交流会館を訪問し、愛楽園の開設と歴史について学んだ。ハンセン病患者の想像を絶する苦痛や差別に対し、私たちはあまりにも理解が足りなかったことを改めて知ることができました。

ハンセン病とは、ノルウエーのハンセン医師が発見した「らい菌」という細菌による感染症だが、かつては「らい病」と呼ばれ、体の末梢神経が麻痺したり、皮膚がただれたような状態になるのが特徴で、病気が進むと容姿や手足が変形することから、患者は、差別の対象となりやすかったと言われている。ハンセン病は、感染力や発病力は非常に弱く、日常生活で感染する可能性はほとんどないようです。患者と接している国立ハンセン病療養所では、働く職員でハンセン病に感染したという人は一人もいないことがわかり、社会見学は有意義でした。



参加した視覚部の皆さん



く広げよう地域に根ざした思いやりく

民生委員・児童委員より町民の皆さまへ

5月12日は「民生委員・児童委員」の日です。

大正6年のこの日、岡山県で济世顧問制度が創立され、民生委員制度の源となる制度が発足しました。来年平成29年には百周年を迎えます。

毎年5月12日から18日までの一週間を「民生委員・児童委員の日活動強化週間」と定めています。この活動強化週間においては、全国二十三人の民生委員・児童委員が様々なPR活動を展開することにより、地域住民・関係機関団体をはじめ、広く社会に民生委員・児童委員の存在やその活動について理解促進を図り委員活動充実に繋げていく事を目指しています。

民生委員・児童委員は、町の民生委員推薦委員会を選ばれ、厚生労働大臣から委託されます。

西原町の民生委員・児童委員協議会は、第一民生委員・児童委員協議会（西原中学校区31名）、第二民生委員・児童委員協議会（西原東中学校区22名）と、なっています。



民生委員・児童委員の活動

- ① 安心して住み続ける事ができる地域福祉増進に努めます
- ② 地域社会での孤立・孤独をなくすよう地域社会の実情を把握する事に努めます
- ③ 誠意を持ってあらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努め各専門機関へと繋ぎます
- ④ 児童虐待・犯罪・福祉課題・子育て支援の協力を努めます
- ⑤ 災害時要援護者支援活動に努めます。



右のマークは、民生委員のシンボルマークであるハートでできた四葉を囲むグリーンのは、人々・地域の暮らしと成長を表し、百年の歴史を表す「100」の文字のオレンジ色が、やさしさとふれあいを意味しています。

「これからも地域とともに」というキャッチコピーには、これまで地域とともに100年間歩んできた実績を背景に、「これからもずっと地域の方々と共に歩み続けよう」という、民生委員・児童委員の想いが込められています。

研修見学活動報告

第一民生委員・児童委員協議会 障害児（者）部会

沖縄愛楽園は、以前県内研修で見学したのですが今回障害児者部会は沖縄愛楽園交流会館が新設されたのを機会に再度研修見学に行きました。

- 1. 沖縄愛楽園の創始者と言われる青木恵哉の記念碑をみる。
- 2. 記念碑のある場所からジャルマ島を望む。

各地で迫害を受けながら、追われて買われた者（奴隷）の住居で風葬の墓場で水のない無人島のジャルマ島での生活。

- 3. 愛楽園交流会館での同自治会副会長 米蔵豊正氏の講話を聴取する。
- ① 愛楽園の歴史を語る。（らい予防法）

徳島県出身の自らライ者である青木恵哉氏は、熊本回春病院の院長であるミス・ハンナ・リデル女史から沖縄の悲惨な病友を救うように言われ1927年2月に鹿児島經由で沖縄に回り同地での伝道を初め病友の為に活動する。

- 1938年…国頭愛楽園（現沖縄愛楽園）を設立

青木恵哉氏が、読んだ俳句など多くあるなかで、
○ 痛み経て、真珠となりし会の春

- 魚ならば海にもぐりても生きん 鳥ならば空に舞い上がりてものがれん 五尺の体住む所なし
- 4. 愛楽園のボランティアガイドである鈴木 洋子氏による交流会館の案内
- 5. 義肢装具室の見学
- 6. 入園者の宿舍

○ 青木恵哉（愛楽園の礎となった療養者）

日本でハンセン病療養所をつくらた唯一のハンセン病患者です。近代日本のハンセン病隔離政策が「らい根絶」のために強化されていくとき、彼は沖縄で何を感じ、どう仲間に語りかけ、どう行動し何を祈ったのでしょうか。今回の研修で私達は現実をしっかりと受け止めて次世代に語り継いで行く役割の深さを感じました。



研修に参加したメンバー



はばたき だより

◆ はばたき利用者研修

はばたきではお客様に「はばたきの商品を購入してよかったです。」「はばたきの喫茶でホッと一息つけたよ」と満足いただけるよう利用者研修を行っております。

3月には、花苗班が「おきなわ子ども国」で開催された「沖縄花のフェスタ」の視察、うるま市にある「幸和ガーデン」を見学し花の種類や展示方法を学んできました。「いろんな花がありきれいだっただ」「自分たちもつくってみたい」など刺激を受けました。

また、喫茶班は中城村にある「レインポウCAFE」にお邪魔し、メニュー表の研究、商品の



花苗班研修の様子



○名称
社会福祉法人西原町社会福祉協議会
サポートセンターはばたき
○営業日
毎週月曜日～金曜日
(土・日・祝日は休み)
○開所時間
8:30～17:15

出し方やお店の装飾などを学びました。研修に参加した利用者からも、「喫茶はばたきの雰囲気も変えていきたい。」と意気揚々と語っていました。
研修で学んだことを活かし、今以上にはばたきが活気あふれる事業所になるよう利用者・指導員一同頑張っていきます。はばたきにこうご期待！



喫茶班研修の様子

◆ NSBPありがとうございます！

1月末、さわふじ未来ホールで開催された「さわりんフェスティバル」にはばたきのお菓子が販売されました。西原町在住の高校生たちを中心としたNSBP(西原ソーシャルビジネスプロジェクト)の皆さんがはばたきのお菓子販売を快く手伝って下さり、大変お世話になりました。

お世話になったにも関わらず「お世話になりました」とお花を頂き、とても感激のあまり涙を流す利用者さんの姿も見られました。



花束もらい恐縮。



感極まり涙

NSBPは「西原町を盛り上げよう！」という趣旨のもとで活動しており、いつも笑顔で元気でさわやかで、西原町の未来は明るいなと頼もしく感じました。NSBPの皆さん、これからも一緒に西原町を盛り上げていきましょう！

◆ はばたきエンジョイクラブ

はばたき利用者の会「はばたきエンジョイクラブ」では、誕生日会やお楽しみ会を利用者と指導員で企画・運営をしています。3月末には「一年間お仕事頑張ったね!」とお楽しみ会を開催し、みんなでビンゴ大会をしました。「ビンゴ!」と叫ぶたびに場が盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

また、4月初めにエンジョイクラブの話し合いを持ち、今年度の役員決めを行っており、今年度は6名の利用者が役員となり、6名の利用者を中心に活気あふれる活動を今年も展開していきたいと思えます。

◆ カップケーキ新発売

スイーツファンの皆さま、大変長らくお待たせしました。はばたきオリジナルカップケーキが発売になりました♪ ふんわり、やわらかく、一口食べると口の中に優しい甘みが広がり、幸せな気持ちになると間違いなしな一品!1個百五十円、喫茶はばたきで大好評発売中です!



※売り切れも予想されますので、お求めの際はお電話でご確認下さい。

詳しくはサポートセンターはばたきへ
TEL:098-943-6251
FAX:098-943-6254
(はばたき直通)
営業:8:30~17:15
(土日祝日を除く)

サポートセンターはばたきの
「はばたくブログ」をチェック!!
<http://habataki.jp-da.net/>



平成28年度西原町手話奉仕員養成講座基礎編受講生募集

1. 目的：聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度等についての理解を深め、日常生活に必要な手話表現技術を習得し、西原町内における聴覚障害者のコミュニケーション確保のための手話奉仕員の養成を目的とする。
2. 期間：平成28年6月2日(木)～平成29年3月16日(木) 全37回
3. 日時：毎週木曜日 午後2時～4時
※講座内容によって日程変更もあります。
4. 場所：西原町社会福祉センター 研修室
5. 受講対象：①手話奉仕員養成講座入門編修了者
②西原町民、及び西原町内で在勤しており、1年間継続して受講可能な方。
③聴覚障害者の良き理解者として、西原町内の手話サークルや各行事に積極的に参加協力できる方。
④2年間の講座（入門編・基礎編）終了後、継続して県主催の手話通訳者養成講座を受講する意志のある方。



※手話奉仕員登録については、入門編1年・基礎編1年（計2年）の修了者を対象に西原町役場介護支援課にて行っています。

6. 募集人数：定員20名（定員に達し次第締め切ります。）
7. 募集期間：平成28年5月2日（月）～平成28年5月25日（水）まで
8. 受講料：無料（但し、テキスト代（3,240円）、その他資料は自己負担になります。）
※前年度のテキストをお持ちの方は購入不要です。
9. 申込先：西原町社会福祉協議会（担当 山田）
TEL945-3651 FAX946-6777
※講座内容の都合上、多少の日程変更が生じる場合がありますのでご了承下さい。



◎各福祉団体総会日程

- ・町母子寡婦福祉会 5月8日（日）午後2時～
- ・町身体障害者協会 5月15日（日）午後2時～
- ・町老人クラブ連合会 5月24日（火）午後1時30分～
- ・町しょうがい児者父母の会
- ・

平成27年度歳末たすけあい募金のご協力ありがとうございました。

兼久区自治会
35,600円（178世帯）

御芳志

御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

◆香典返し◆

- ・字我謝、泉川寛善（故妻 静子）様より5万円
- ・字棚原、比嘉サダ子（故夫 昭幸）様より5万円

◆物品・野菜寄贈◆

- ・小波津盛光様、宮城ヨシ様、與那城一美様、喜屋武ハツ子様、石原企美子様、石原米子様よりお元気ですか事業へ野菜提供

